



2月号

2018年2月発行

長岡京市

市民活動サポートセンター発行

パンビオ1番館1階

☎075-963-5505 fax:075-963-5523

＝戊年・平成最後の年号・西暦2018年の始動＝

＊2019年からの新元号は

新しい2018年戊年を迎えて早くも節分の季節となりました。来年(2019年)の4月末で平成が終わり、新しい年号が、2019年5月1日よりはじまるということです。



(ちょこボラさんの作品)

では、新しい元号(年号)は誰がどのようにしてきめるのでしょうか、少し調べてみました。(日本文化研究ブログより引用)

1979年(昭和54年)元号法が定められ、元号の選定について具体的な要領が定められました。それによると、元号は、「候補名の考案」、「候補名の整理」、「原案の選定」、「新元号の決定」の各段階を踏んで決定される、とあります。まず、候補名の考案は内閣総理大臣が選んだ若干名の有識者に委嘱され、各考案者は2ないし5の候補名を、その意味・典拠等の説明を付して提出します。

総理府総務長官(後に内閣官房長官)は、提出された候補名について検討・整理し、結果を内閣総理大臣に報告します。このとき、次の事項に留意するものと定められています。

- (1)国民の理想としてふさわしいようなよい意味を持つものであること。
- (2)漢字2字であること。
- (3)書きやすいこと。
- (4)読みやすいこと。
- (5)これまでに元号又はおくり名として用いられたものでないこと。
- (6)俗用されているものでないこと。

その後、総理府総務長官、内閣官房長官、内閣法制局長官、らによって精査され、数個の案を選定し、全閣僚会議で新元号の原案について協議し、閣議において改元の政令の決定という形で決められます。

元号は、元号法第2項で「皇位の継承があった場合に限り改める(一世一元の制)」とされています。因みに、元号の歴史は「大化」から始まって「平成」で231の元号が誕生しています。

さて、どのような元号になるのでしょうか? 関心をもって見守りたいと思います。

＝2018年の各登録団体様の抱負を絵馬に記して頂きました＝

「2018年の抱負」を絵馬に託す、という形で登録団体の皆様に抱負を綴って頂きました。その一部を紹介いたしますと、良質のタケノコを育てたい:感謝の気持ちで今日を生きる!笑顔で:戦争のない世界になりますように*未来を創造する子供たちが笑顔で過ごせますように:エポカのテーマソングさくせい等々、各団体様の想いを込めたユニークな抱負を綴って頂きました。そうした登録団体様の想いが実現できるように、しっかりと支援をして参りたいと思います。寄せて頂いた絵馬はセポセンに飾っていますので是非見に来て下さい。

又、同時に設置しましたサポセンおみくじが人気で、「どうやっても大吉」「せつない凶」と言葉も面白いおみくじで人気を博しました。

次に我々の仲間の3団体さんに2018年の抱負を書いて頂きました

□NPO 法人京おとくに・街おこしネットワーク



□高次脳機能障害サポート研究会

□非営利活動法人おとくにパオ

以下3団体の記事です。

***NPO法人京おとくに・街おこしネットワーク——理事長：中山 秀亜**

私どもの「NPO法人京おとくに・街おこしネットワーク」は10年経過しましたが、長いようで、短く感じた10年でした。約40名の会員が、ハイキング道西山古道の整備・特産品の開発・西山ガイド・花と緑の街づくり・他団体とのコラボ・親睦等各々の分野で活動・行動してきた結果がここまで続いたものだと思っています。

一般企業でも、昨今急速に求められている仕事の方法を変化させることが、当然の仕事となってきています。10年の経験から言えることは、ボランティア活動では、直ぐにやるべきだと気づいたことから行動すべし、やる気のあるところに知恵が授かると一層やる気が起こります。

これからは健康第一ですが「スマートエイジング」をより楽しみたいと願っています。



***高次脳機能障害サポート研究会——高坂 洋子**

H22年設立の市民団体「高次脳機能障害サポート研究会」の一員として活動しています。思いもかけない事故などで受傷、そこから出口の見えないトンネルに入ったような苦しいおもいをしてきた方々が少なからずおられる。少し落ち着きを取り戻した時に気軽に思いを共有できる場が必要であり、何よりも継続が重要と考えています、今年も新年会を皮切りに、今年度の抱負を更に深めていきます。①当事者発案を大切にした交流会の企画②当事者・家族とともに支援者会員を増やし会の継続に資する。③会報の定期発行をめざす。今年もサポセンをしっかり活用させていただきますのでよろしくお願いいたします。

***非営利活動法人おとくにパオ——理事長：三浦 千尋**

おとくにパオは、子どもを真ん中に大人もいっしょになって楽しむ様々な活動を行っています。高校生以上の青年たちが小学生といっしょに行くキャンプや、自分たちで献立から考え、買い物・調理する子どもお料理クラブ、自然の中で思いっきり遊ぶ企画など。この中で森林体験「はれザウルス」は、活動20周年を迎え、ビッグイベントを考えています。子どもたちにとって学校とは異なる居場所となり、私たち大人が想像もできない可能性や生き生きとした笑顔が見られる活動を今年も目いっぱいやっていきたいと思ひます。また、「子どもの育ち」についていっしょに考え、活動していく仲間との出会いを見つけていきたいと思ひています。



＝サポセン事務局からのお知らせ＝

****2月の何でも相談会は**

2月5日(月)・19日(月) 14:00~17:00 サポセンで行います。ご相談お待ちしております。

****活動発表会&交流会の案内と発表団体募集**

3月10日(土) 10時~12時にバンビオにて開催します。貴団体の活動をPRしてみませんか?